

「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム フォーラム専門部会



資料11 - 2



秩父市スマートシティの実現に向けた取り組みについて

～秩父市移動支援プロジェクト～



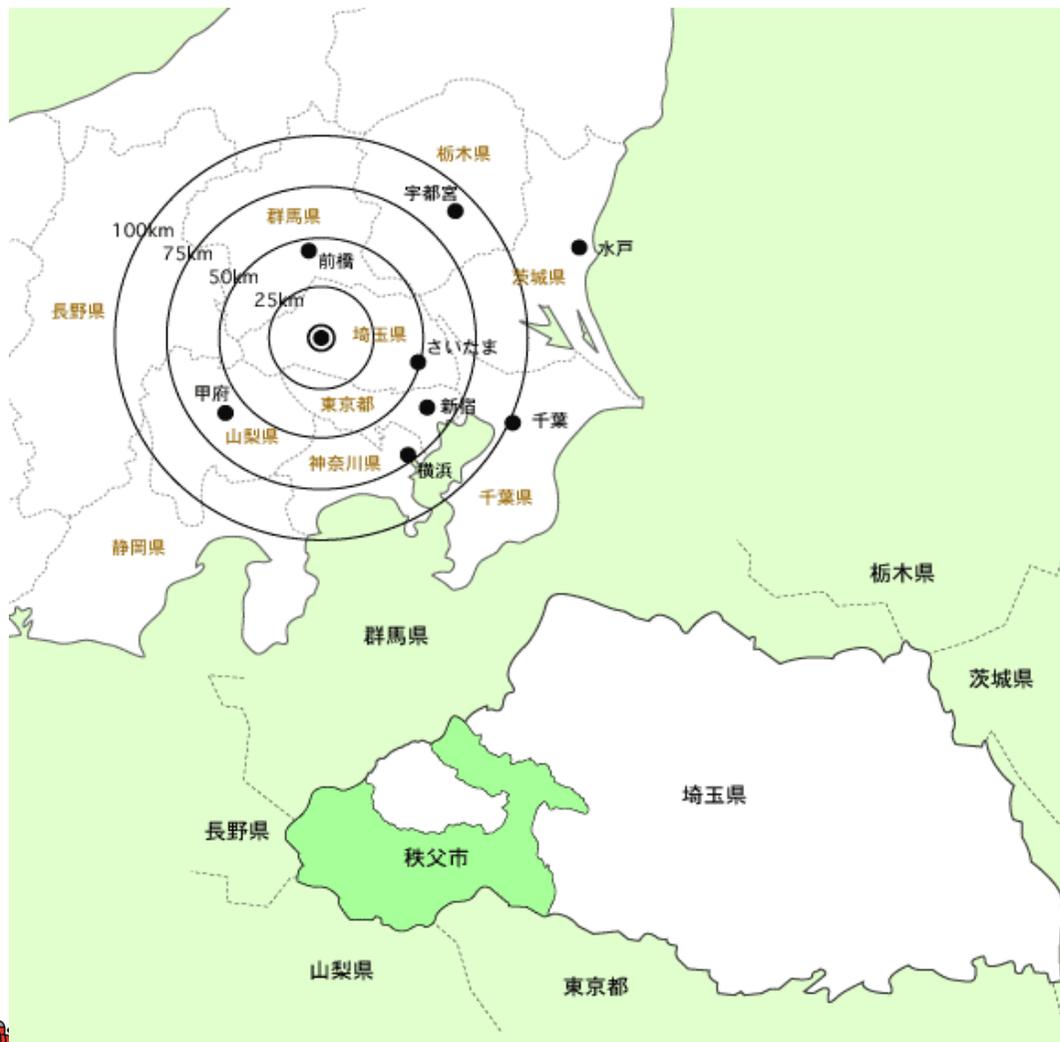
令和7年2月13日

秩父市 産業観光部 先端技術推進課

主査 山中 伸吾



秩父市について①：人口・地勢



- 埼玉県北西部の秩父地方にある市
- 面積は埼玉県内では最も広い自治体

人口	総数 57,296人(R7.2.1)
	(男性) 27,966人 (女性) 29,139人
世帯数	26,022世帯
面積	577.83km² (埼玉県の約15%)
地形の 特色	周囲に山岳丘陵を眺める盆地を形成し、 市域の87%は森林 ※県内森林の約40%！

秩父市について②：特色



羊山公園芝桜の丘の様子
(4月中旬～GW)



市街地から車で約10分、秩父ミュージアムパークからは雲海も見られます
(秋10月～11月がシーズン)

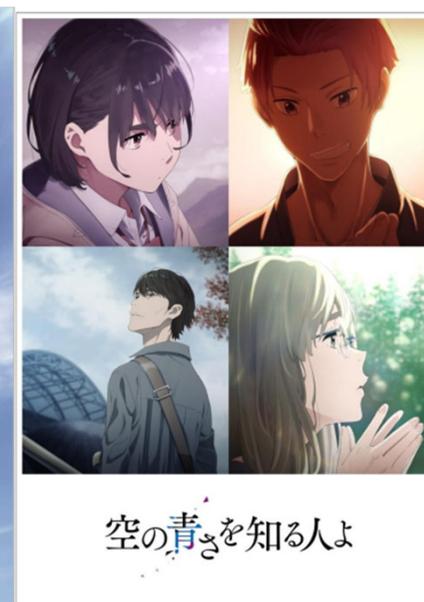


日本三大曳山祭・ユネスコ無形文化遺産
秩父夜祭 (12月2日・3日)

- 秩父市内へは、西武鉄道・秩父鉄道の2線が乗り入れ、東京都内・熊谷方面へのアクセスがしやすい環境
- 都内（池袋）からは西武鉄道の特急電車を利用して、約80分で移動できます
- 豊かな自然環境と四季折々の季節を楽しむことができます
- **年間約600万人の観光客**が来訪する観光地
- 芝桜の丘（春）、龍勢祭（秋）、秩父夜祭（冬）などイベントも盛んな地域です



秩父市について③：特色



秩父市イメージキャラクター
「ポテくまくん」と
「イチローズモルト(パネル)」

ちちぶ乾杯共和国
イメージ

秩父市を舞台にした三部作アニメ
通称「あの花」「ここさけ」「空青」

- 秩父を舞台にしたアニメ作品三部作により、全国からファンが訪れアニメの聖地となっている
- **イチローズモルト**（ベンチャーウイスキー）等が有名なお酒造りが盛んな地域



秩父市について④：イベント



◆令和7年5月25日(日)に「全国植樹祭」開催



埼玉県では…

- ◆ 昭和34年に寄居町金尾山で「第10回」を開催！
- ◆ 令和7年「第75回全国植樹祭」は、66年ぶり2回目の開催！

—全国植樹祭開催県—



- 第73回(令和5年) 岩手県 (主会場:陸前高田市)
- 第74回(令和6年) 岡山県 (主会場:岡山市)
- 第75回(令和7年) 埼玉県 (主会場:秩父市・小鹿野町)
- 第76回(令和8年) 愛媛県

全国植樹祭とは、森林・みどりに対する国民的理解を深めるため、(公社)国土緑化推進機構と開催都道府県の共催により開催される国土緑化運動の中心的行事であり、天皇皇后両陛下ご臨席のもと毎年春に式典行事や記念植樹を行うものです。

◆四大行幸啓◆

天皇、皇后両陛下が、各都道府県持ち回りで毎年開かれる「全国植樹祭」「国民体育(スポーツ)大会」「全国豊かな海づくり大会」「国民文化祭」の行事に出席するのに合わせた重要な地方訪問すること。



Society5.0事業とデジ田交付金事業の2本柱



	 デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプSociety5.0型) ☆本資料ではこちらの取組みを解説	 デジタル田園都市国家構想推進交付金 (デジタル実装タイプType2) 事業
事業名	秩父市移動支援プロジェクト 結いまち (通称)	秩父市・横瀬町スマートモビリティによるエコタウン創造事業
事業主体	秩父市	秩父市・横瀬町の広域連携
協議会名	秩父市生活交通・物流融合推進協議会	秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会
事業年度	R2～R6年度 (5年間)	R4年度
対象地域	秩父市大滝地域	秩父市・横瀬町
実装サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン配送 (平時・災害時) ・遠隔医療 ・物流MaaS (共同配送・貨客混載) (→「モノ」の移動に着目した取組が多い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時ドローン配送 ・AIデマンド交通 ・観光MaaS (→「ヒト」の移動に着目した取組が多い)
データ集約・連携	秩父ダッシュボードシステム	秩父ダッシュボードシステムへ連携に加え、データ連携基盤への接続
その他	未来技術社会実装協議会の支援対象事業 (中央省庁含め、技術・規制緩和等に関する助言)	



秩父市の取組みで目指す地域課題・将来像



■ 解決すべき課題

- ・災害時は生活インフラが寸断、観光シーズンには大渋滞で市民の生活にも影響がある。
→ **物流・交通の新たなモデル構築が必要（行政としての「物流」への関与）**
- ・住民の多くが高齢者がゆえに、今後、医療受診が困難になることが想定される。
→ **遠隔医療の必要性（コロナとの共生）**



【写真】大滝地区トンネル

人気観光地の三峯神社の道中は観光シーズンには大渋滞になることも…

大雪災害の様子
(平成26年2月)
1週間以上にわたり孤立



【写真】三峯神社500m手前

■ 目指す将来像

- ・人とモノの移動の困難さや着目した山間地域での**物流・公共交通ネットワーク**を構築する。

- ① 地域住民（大滝地域）にとって住みやすいまちづくり
- ② **新たな事業や産業を誘致し、雇用の創出**につなげる
- ③ 人口の減少・流出を抑制し、地域の活力を生み出す

未来技術を活用したまちづくりを推進





秩父市の取組みで目指す方向性

1 生活インフラの維持（買い物支援や災害対応）

→ ドローン配送による物流の効率化や災害時の支援



2 遠隔医療や医薬品等の配送

→ ICT等を活用した遠隔医療、服薬指導等も想定



3 生活交通と物流の維持

→ 物流MaaSの導入。共同配送、貨客混載による物流の効率化

<EV・UGVの活用>

→交通インフラの補完、観光政策、EVの蓄電池機能を活用し、災害時の電源確保を視野に入れたカーシェアリングを想定



2020年7月 内閣府 未来技術社会実装事業の採択(R2~R4) + 継続支援 (R5,R6)

2020年8月 内閣府 地方創生推進交付金 (Society5.0タイプ) の採択



「秩父モデル」について



秩父ダッシュボードシステム：
地域全体のモビリティの位置情報を統合・可視化



事業を実施している「秩父市大滝地域」について①



事業を実施している「秩父市大滝地域」について②



- ◆山のすそ野に沿って集落が点在している。人口は秩父市内で最も少なく、減少率も高い地域。
- ◆中心市街地から車で40分ほどで大滝の入り口に到着。車移動が必須。

買い物施設もある道の駅大滝温泉



パワースポットとして大人気の三峯神社

冬の観光名所の三十槌の氷柱



自然豊かな大滝地域（栃本集落）



東京五輪の際にBMXコロンビア選手の事前合宿地にもなった滝沢サイクルパーク



事業の実施体制



事業の体制

地方公共団体等

秩父市・埼玉県・
秩父商工会議所・FIND Chichibu・
秩父警察署

大学・研究機関等

早稲田大学・
(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク・
(公財)埼玉県産業振興公社

秩父市生活交通・物流融合 推進協議会

事業全体/各テーマの進捗報告・協議
関係団体との意見交換など

秩父市 未来技術 社会実装協議会

内閣府支援事業
関係府省庁による総合的な支援

民間事業者 (15社)

(株)ゼンリン・(株)三菱総合研究所・(株)西武ホールディングス・西武鉄道(株)・(株)西武観光バス・(株)アズコムデータセキュリティ・(株)オプナス・東京電力パワーグリッド(株)・ヤマト運輸(株)・佐川急便(株)・日本郵便(株)・(株)栃ふさ・(一社)ヒトツムギ・(株)NEXT DELIVERY・(一社)ちちぶ結いまち

支援

国

内閣府・警察庁・総務省・
厚生労働省・国土交通省

現地支援責任者

(内閣府地方創生推進事務局)



事業の実施体制



秩父市

事業主体、フィールド提供、
住民合意形成

ゼンリン

事業全体統括、
ダッシュボード開発

早稲田大学

有識者、
電動型モビリティ (UGV)

栃ふさ

ラストワンマイル配送
ドローン配送

三菱総合研究所

事業統括補佐（コンサル）、
遠隔医療支援

NEXT DELIVERY

ドローン物流事業

西武グループ

公共交通、貨客混載事業

ヒトツムギ

ラストワンマイル協力

アズコムデータセキュリティ

ドローン運用、
物流事業者

オプナス

スマートロッカー開発、
ドローン物流・共同配送等の事業検討

東京電力パワーグリッド

エネルギーマネジメント
EVカーシェアリング事業検討

ちちぶ結いまち

各種実装サービスの持続的な
ビジネスモデル構築の検討支援

ヤマト運輸

共同配送、貨客混載

佐川急便

共同配送

日本郵便

共同配送



これまでの秩父市のドローン事業への関わり



名称	実施年月	内容
災害時におけるドローン等による支援活動に関する協定	H28.10	相手方：(株)エンルート(当時)
「ドローンハイウェイ構想」(当時)への参画	H29.4	事業実施者：(株)ゼンリン、東京電力ベンチャーズ(株)
秩父市支援組織による浦山ダム及び滝沢ダムの使用に関する協定	H29.4	相手方：(独)水資源機構 荒川総合管理所
ドローンハイウェイを活用したドローン物流サービスの実証	H30.6	事業実施者：(株)ゼンリン、東京電力VT(株)、楽天(株)
国土交通省・環境省連携事業「ドローン物流の検証実験地域」の採択	H30.8	全国5地域の一つに選定される。
ドローンハイウェイを活用した荷物配送実証(国内2例目の「レベル3」飛行)	H31.1	秩父市ドローン配送協議会で連携
内閣府「地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)」の採択(R02.8)	R02.10	公募型プロポーザル方式にて代表事業者：(株)ゼンリンに決定
	R02.11	秩父市生活交通・物流融合推進協議会開催
「埼玉版スーパーシティプロジェクト」のエントリー自治体として選定	R04.1	第1弾グループとして県内11自治体の一つとして選定
内閣府「デジタル田園都市国家構想推進交付金(TYPE2)」の採択	R04.6	秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会で連携
中津川地区における緊急物資輸送に関する連携協定 (土砂崩落へのドローン配送の検討)	R04.10	相手方：株式会社ゼンリン
中津川地区で衛星通信「Starlink」を活用したドローン定期配送(国内初)	R05.1 ~3	事業実施者：秩父市、ゼンリン、KDDI、KDDIスマートドローン、エアロネクスト(ほか3者)
政府「デジタルライフライン全国総合整備計画」検討方針 (第12回 デジタル田園都市国家構想実現会議/首相官邸)	R05.3.31	アーリーハーベストPJでの「ドローン航路」を、送電網を中心にして秩父地域に約150km整備と発表される。
政府「デジタルライフライン全国総合整備実現会議」	R06.3.28	秩父地域と浜松市を「ドローン航路」整備の先行地域に選定し、2024年度から実装に向けた支援策を講じる。

大滝地域住民へのニーズ把握



① 大滝町会理事会へ参加

⇒積極的に意見交換を実施し、年4回程度開催一人でも多くの意見を聞いて反映できる場所を確保。

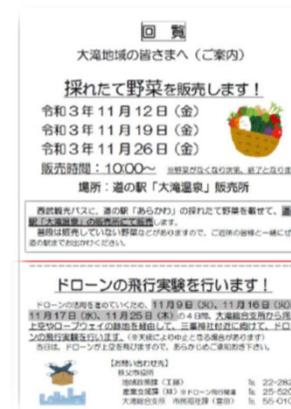
② 回覧（周知文）

⇒実証前には、対象地域の区に対して、必ず周知

③ 大滝地域にある企業の関係者とも意見交換。

・R3.7／大滝地域の住民を対象にヒアリング調査を実施。

⇒民間事業者と協力して、全320世帯を徒歩調査。**地域別の買物・移動に関するニーズを把握**



ドローン配送について（令和3年度）

■ドローン配送の実現に向けて、「災害時活用」を想定した飛行試験から実施

- 住民へのニーズ調査を基にまずは「災害時活用」を想定した飛行試験から実施。
- ルートにおける高低差や距離の優位性について実証することで、災害時に確実にできる体制を整える
- **地元事業者**での社会実装を目指し、楽天の運行管理システムのノウハウを活用。実証段階から連携して実施
- 車道では約15km、高低差約700m、ドローンなら約8分で到達

【ドローン配送の活用方法】

①災害時活用

大雪や土砂災害発生時に緊急物資を届ける。

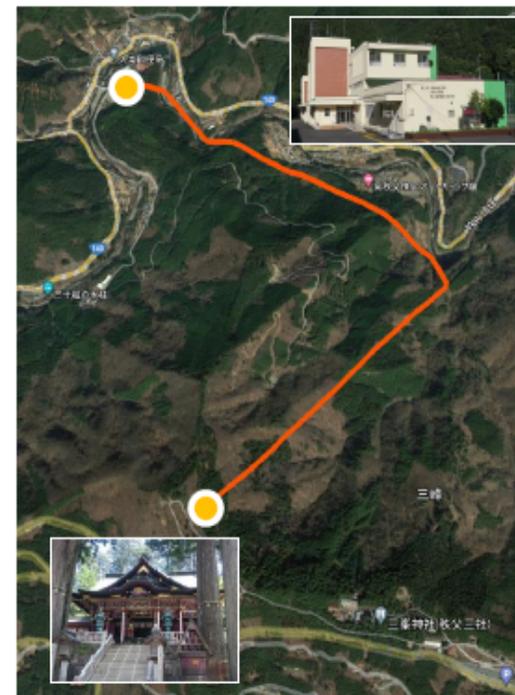
②平常時活用

住民への荷物配送サービスでドローンを活用
(食品、日用品、医薬品など)



ドローン配送飛行ルート

- 配達元
大滝総合支所
- 配送先
三峯神社境内空地
- 距離
往復 約7km
- 飛行方式
目視外補助者無
+ 物件投下あり



【出典】JP楽天ロジスティクス株式会社作成資料より一部抜粋

災害時を想定した複数のモビリティ実証実験（令和3年度）



<実証シナリオ>

①災害発生時

・緊急支援物資の配送実証

実施日:2021年11月25日

内容:緊急時に不足している物資をバス・ドローン・自動搬送モビリティを連携させ配送する実証実験を実施。

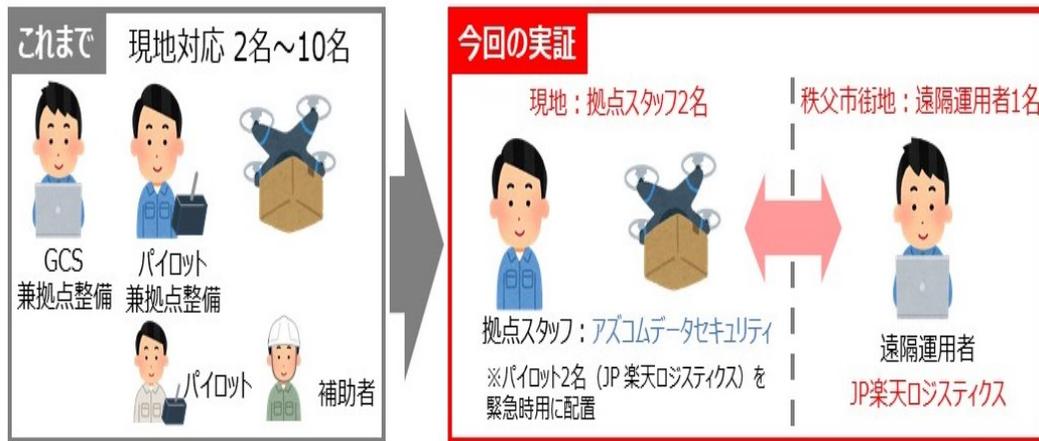
秩父ダッシュボードシステムによる複数のモビリティの支援を検証します。





ドローン配送について（令和4年度）

- ・当初は、災害により道路が寸断されたことを想定して、医薬品や緊急支援物資等をドローン配送を予定していた
- ・令和4年9月13日に発生した中津川地内における土砂崩落が発生したことをきっかけに、実際の災害現場を超えて、ドローンによる物資配送を検討した。
- ・しかし、LTEの電波やGPS問題等、様々なリスクを考慮した結果、この飛行を断念
- ・今後の平常時活用が想定されるルートでの実証に変更した



実証概要

実施日	2022年11月7日～17日
配送ルート	道の駅大滝温泉～二瀬ダム管理事務所前(往復約6 km)
参加事業者	J P 楽天ロジスティクス アズコムデータセキュリティ

J P 楽天ロジスティクスの遠隔運用者が、ドローン出発地点（道の駅大滝温泉）から約14km離れた秩父市内の拠点より、遠隔でドローンの運航判断・操作・監視を実施し、現地では、アズコムデータセキュリティのスタッフが、ドローン機体の点検など、拠点業務の一部運用を担当する形で実施した



ドローン配送について（令和5年度）



- ・平常時の物流と災害時の緊急物資輸送を行うための手段として、ドローンの活用を引き続き検討
- ・令和5年度のドローン物流のゴールは「ドローン運用体制の構築」に設定した。配送ルートは、物流拠点のある道の駅大滝温泉を発着地とし三峯神社周辺を目的地に設定した

構築準備

- ①機体の導入
→秩父市で機体を購入
ACSL社のAirTruck
- ②ドローンポートの選定
→道の駅大滝温泉駐車場
三峰ビジターセンター横の駐車場の2カ所
- ③飛行ルート設計
→左図参照
- ④電波調査の実施
→LTE通信の強度を調査

飛行実証

①飛行申請

表 2-2-5 飛行申請の内容

飛行期間	令和5年12月18日から令和6年12月17日
飛行経路	埼玉県秩父市大滝 4277-8、埼玉県秩父市三峯 8-1
許可承認番号	東空運行第 30874 号

②飛行実証

表 2-2-6 飛行実証の概要

日程	令和5年12月26日
飛行経路	道の駅大滝温泉から三峯神社
距離	片道 7.098km
飛行レベル	レベル 2(目視内飛行)
飛行時間	22分

③ドローンパイロットの養成

- 3名が基礎知識講習と補助員講習を受講



↑ ドローン飛行ルート

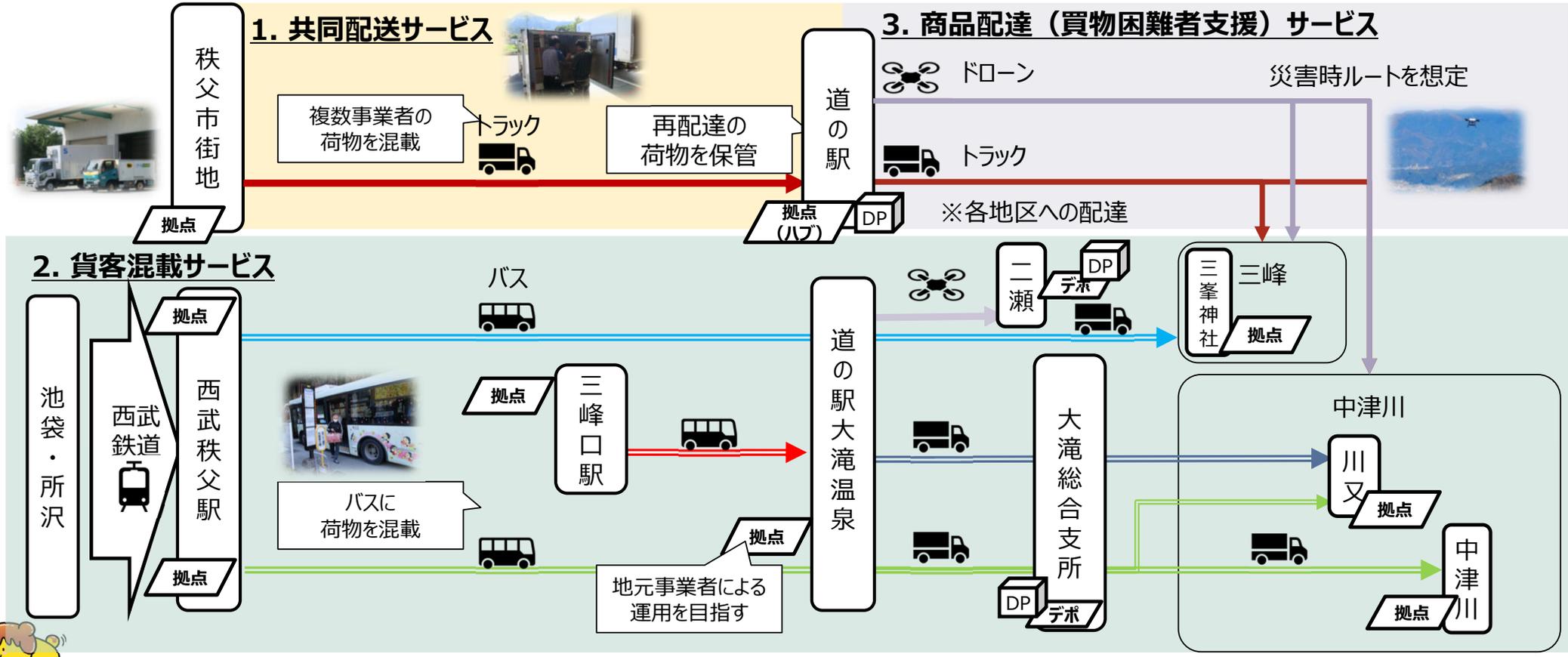
← 補助員講習風景





MaaS事業（物流）について

- 1. 共同配送：市内の物流/配送事業者を巻き込んだ共同配送の仕組み及び再配達サービスの検討
- 2. 貨客混載：市内/外の荷物を公共交通機関に実際に積み込んで大滝地域への配送実証
- 3. 商品配送：商品のドローン/トラック等を活用した配送実証



共同配送におけるプレサービスを実施（令和4年度）



- ・日用品確保等の日常生活を支えるインフラとして、宅配サービスの重要性
 - ・物流業界でのドライバー不足や山間地域におけるトラック1台当たりの積載率の低下が全国的な課題
- ⇒「運送・配送業務の効率化・平準化」といった課題を、**共同配送サービス**を通して解決を目指す

「大滝共同配送サービス」プレサービス概要

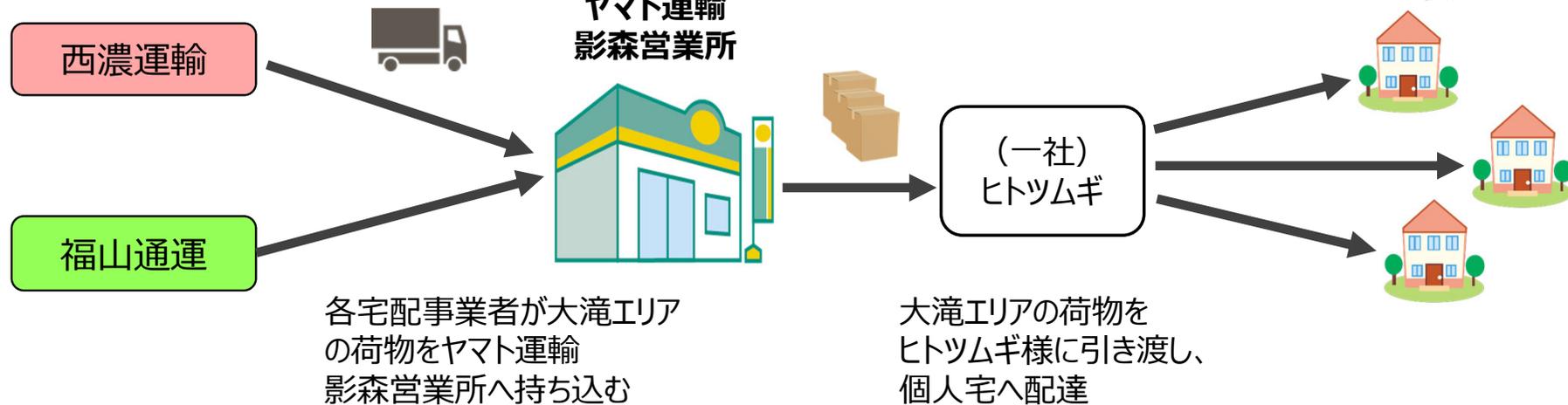




共同配送における実装の準備（令和5年度）

- ・令和6年度に実装を控え、主に運用フローの最終確認を目的として実施の準備を進めた。
- ・栃ふさは、ヒトツムギ、ヒーリングスペースと共同配送の体制を構築
- ・名称を「おむす便」に決定（思いをのせて運びます）

【令和6年4月の実装を見据えたプレサービスの構想】



- ▶ ヒトツムギのトラックは、2台体制で配達を行う。
- ▶ 1号車は、ヤマト運輸の荷物を積み込み、ヤマト運輸影森営業所を出発、大滝地域へ配達する。
- ▶ 2号車は、ヤマト運輸影森営業所にて、福山通運、西濃運輸の荷物を積み込み、大滝地域へ配達する。
- ▶ 1号車と2号車は、夕方頃、大滝振興会館で落ち合い、持ち戻り商品の積み替えなど連携を行う。



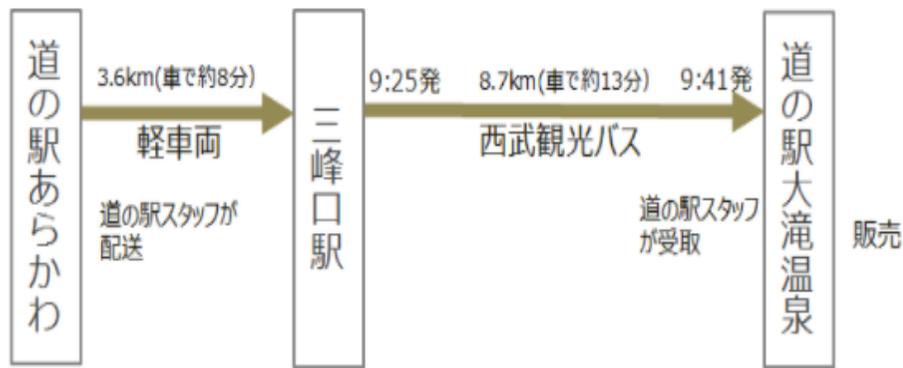
貨客混載



<令和3年度>

道の駅大滝温泉までのバス路線に野菜を混載

【実証の流れ】



<令和4年度>

バルク商品をバスに混載



<令和5年度>

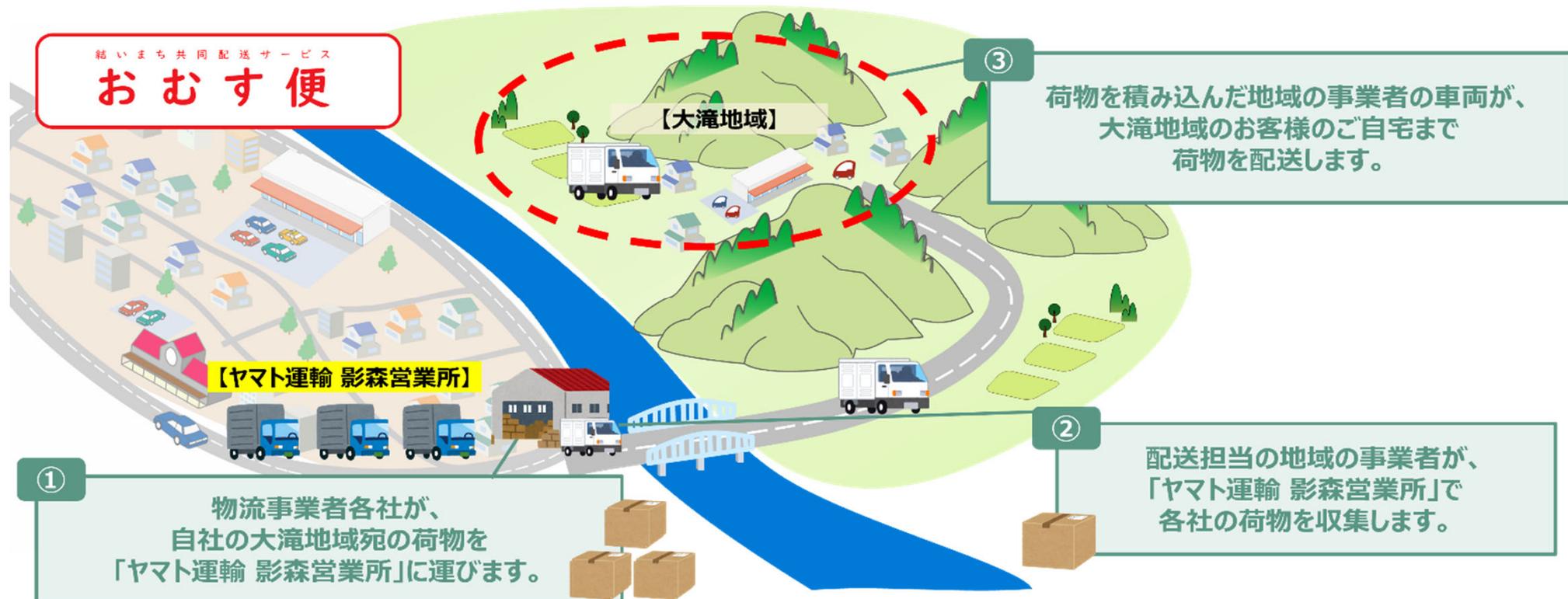
- ・数量やラストワンマイル配送への引継ぎで課題が残されていた
- ・そこで、共同配送において、中津川地域宛ての宅配物が少なかった場合に、貨客混載により宅配物を配送する方針で配送料や配送商品等の検討を進めたが、配送オペレーション、事業性に課題。
- ・今後は、貨客混載サービス検討をいったん**保留**



令和6年度実装サービス①：共同配送サービス（おむす便）



- ヤマト運輸、西濃運輸、福山通運の物流事業者3社の荷物を集約し、地域の事業者（栃ふさ）が大滝地域住民の自宅まで配送する「おむす便」を、**6月3日からスタート**
- 今後は、株式会社ベルク等の小売事業者とも連携した買い物支援サービスを展開予定。



おむす便の実績



【配送個数】

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ヤマト運輸	653	1,041	1,027	970	1,517	1,721
福山通運	35	79	50	43	59	41
西濃運輸	—	—	—	—	—	—
ベルク配送		11	27	9	11	7
合計	688	1,131	1,104	1,022	1,587	1,769

※ヤマト運輸の9月からの集荷分を含む

【課題等】

- 午後便が極端に少ない状況。（午前：50～70個、午後：2～5個程度）
- 土日の三峰ルート of 配送が渋滞に巻き込まれることが多い。



令和6年度実装サービス②：遠隔医療サービス（そばいる）



- 「患者への医療提供機会の維持」や「訪問業務における医療従事者の移動時間効率化」を目的に「オンライン栄養指導」「D to P with N」「オンライン受診相談」の3つのサービスを6月3日からスタート
- 今後は、遠隔医療サービスの受診者数など個人情報に該当しない範囲でデータを収集し、今後の行政サービスの検討に役立てる。



企業版ふるさと納税の活用



- 令和3年度から6年度まで、多くの企業様にご寄附・ご支援を賜りました
- 令和2年度から令和6年度までの事業費総額約3億円のうち、**66,450,000円**のご寄附を活用

年度	ご寄附件数	ご寄附金額
令和3年度	7件	52,400,000円
令和4年度	10件	2,050,000円
令和5年度	9件	10,700,000円
令和6年度	5件	1,300,000円



社会受容性向上の取り組み（R2・R3）



令和2年度から令和6年度まで**合計4回**にわたり、大滝地域の住民の方々や地域の事業者、市民に対して、本事業の取り組みを紹介するイベント（未来技術披露会）を開催してきました。

R2年度

- 開催日程 令和3年3月18日（木）10:30～12:00
- 開催場所 秩父市役所 大滝総合支所 構内
- 内容
 - ①事業概要の説明
 - ②トラック配車計画の自動作成およびリアルタイムモニタリングのデモ
 - ③ドローンによる飛行デモ
 - ④電動小型モビリティによる自動搬送デモ



R3年度

- 開催日程 令和3年11月4日（木）・11月5日（金）
- 開催場所 秩父市役所 歴史文化伝承館
- 内容
 - <11月4日>
 - ①基調講演②パネルディスカッション
 - <11月5日>
 - ①ドローン機体展示②自動搬送ロボットの配送実験



社会受容性向上の取り組み（R5・R6）



特に令和5、6年度は、子ども達（小中学生）にも楽しめるイベントを企画し、多くの子ども達に参加してもらった。開催後のアンケートでは、**満足度が非常に高い結果**となった。

R5年度

- 開催日程 令和5年8月19日（土）10:30～16:30
- 開催場所 ウニクス秩父 ユナイテッドシネマ前広場
- 内容

<テーマ> 未来のしごと体験（117名が体験）

- ・ドローンパイロットなど5つの仕事から2つを選択して体験
- ・未来のしごと体験以外にも、市、ヤマト運輸、東京電力によるブース出展や早稲田大学によるモビリティの乗車体験も実施。



R6年度

- 開催日程 令和6年9月21日（土）10:00～16:00
- 開催場所 秩父地場産センター
- 内容

<テーマ> 未来技術に触れみよう

- ・トイドローンの操縦体験（約100名が体験）
- ・プロによるドローンレース
- ・事業パネル展示
- ・物流ドローン疑似体験やVRによるドローンシミュレーションも実施



事業スケジュール



- **5年間の事業。今年度は第5期「実装フェーズ」として、各種サービスの実装を開始**
- **大滝地域での秩父モデルの横展開**を目指す。

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
<p>▲【計画フェーズ】 生活交通・物流等の機能、サービスを有機的につなげていくための全体設計とニーズ調査</p>	<p>▲【計画フェーズ】 各分野別の実証実験と機能開発による個別最適化の検証と技術検証（年度初めは引き続きニーズ調査も実施）</p>	<p>▲【実証フェーズ】 各分野別の実証実験やプレサービスによる事業性の評価 ※平時・災害時のドローン配送を実施・検証</p>	<p>▲【実証期～実装期】 各分野別のサービス統合による全体最適化 ※システムのプレ運用、プレサービス開始、実装時の体制検討</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">本格 実装 開始</p>

最終年度中に大滝地域での社会実装が完了。横展開の検証を開始する。





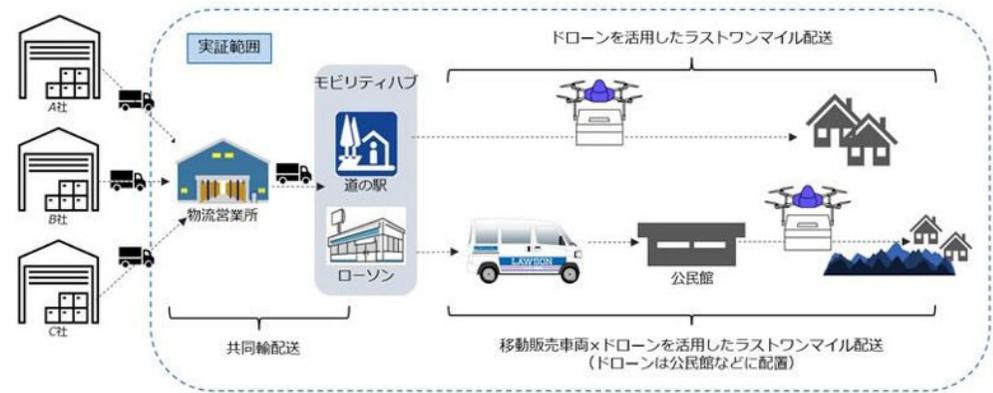
おむす便事業の発展へ

- ・令和6年度環境省の「運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業」において、佐川急便(株)、KDDI(株)が、秩父地域をフィールドとして、事業採択を受けた。
- ・モビリティハブで実現する共同配送とドローン活用による CO2 削減事業を展開中
- ・おむす便の事業の展開を検討

令和6年度運輸部門の脱炭素化に向けた
先進的システム社会実装促進事業採択案件一覧

代表事業者	実証事業名
佐川急便株式会社	「地域配送ネットワーク」プラットフォーム構築（ドローン・共同配送を活用したスマート物流）
KDDI 株式会社 →R7.2.12 メディア公開	モビリティハブで実現する共同配送とドローン活用による CO2 削減

KDDI実証イメージ



<本実証のイメージ>

今後の展望：ドローンを軸に、秩父市は様々な先端技術の取組みを推進！



①アーリーハーベストプロジェクト推進

自動運転やAIの社会実装を加速：「点から線・面へ」「実証から実装へ」 デジタルライフライン全国総合整備計画の概要

- 人口減少が進むなかでもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため、約10年のデジタルライフライン全国総合整備計画を策定
- デジタル完結の原則に則り、官民で集中的に大規模な投資を行い、共通の仕様と規格に準拠したハード・ソフト・ルールのデジタルライフラインを整備することで、自動運転やAIのイノベーションを急ぎ社会実装し、人手不足などの社会課題を解決してデジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成に貢献する
※国土形成計画との緊密な連携を図る



②コンソーシアム設立



先行地域選定をきっかけに地域課題の解決とサービスの社会実装に向けた検討を行う場として、自治体や民間事業者と連携した「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」を設立

デジタルによる社会課題解決・産業発展			アーリーハーベストプロジェクト		
人手不足解消による生活必需サービスや機能の維持			2024年度からの実装に向けた支援策		
人流クライシス 中山間地域では移動が困難に…	物流クライシス ドライバー不足で配送が困難に…	災害激甚化 災害への対応に時間を要する…	ドローン航路 180km以上 【送電線】埼玉県秩父地域【河川】静岡県浜松市(天竜川水系)	自動運転サービス支援道 100km以上 【高速道路】新東名高速道駿河湾沼津SA～浜松SA間【一般道】茨城県日立市(大夏駅周辺)	インフラ管理のDX 200km ² 以上 埼玉県 さいたま市 東京都 八王子市
デジタルライフラインの整備			中長期的な社会実装計画		
ハード・ソフト・ルールのインフラを整備			官民による社会実装に向けた約10カ年の計画を策定		
ハード ✓ 通信インフラ ✓ 情報処理基盤等(スマートたこ足) ✓ モビリティ・ハブ(ターミナル2.0、コミュニティセンター2.0)等	ソフト ✓ 3D地図 ✓ データ連携システム(ウラノス・エコシステム等) ✓ 共通データモデル・識別子(空間ID等) ✓ ソフトウェア開発キット等	ルール ✓ 公益デジタルプラットフォーム運営事業者の認定制度 ✓ データ連携システム利用のモデル規約 ✓ アジャイルガバナンス(AI時代の事故責任論)等	<p>先行地域(線・面) 国の関連事業の</p> <ol style="list-style-type: none"> 集中的な優先採択 長期の継続支援 共通の仕様と規格 		

③空飛ぶクルマの実証フィールド



eVTOL (空飛ぶクルマ) COPYRIGHT © JAPAN AIRLINES. ALL RIGHTS RESERVED.

令和6年3月28日開催「デジタルライフライン全国総合整備実現会議」資料から抜粋





ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ】

埼玉県秩父市

産業観光部 先端技術推進課

〒368-8686

埼玉県秩父市熊木町8番15号（市役所歴史文化伝承館3階）

電話番号：0494-21-5522（直通）

FAX番号：0494-25-0136

メールアドレス：sentan@city.chichibu.lg.jp

URL：https://hospital.city.chichibu.lg.jp/10493.html

